

令和4年度第2回和光市図書館協議会会議要録	
日 時	令和4年12月9日（金）10時～11時55分
場 所	和光市図書館 会議室
出席者	(委 員 長) 石川 敬史 委 員 鈴木 啓修 柳下 和弘 高田 桃子 国岡 晶子 小熊 尋子 星野 裕司 事務局 教育委員会次長 亀井 義和 本館館長 小林 理恵 下新倉分館館長 戸田 直美 主査 橘高 わかな 主査 吉澤 実幸 主任 磯崎 智美 主任 片岡 彩 欠 席 星 佳芳、土井 純子、小嶋 里恵
傍聴者	0 人
石川委員長	1 議事 (1)第3次和光市図書館サービス計画について (2)第4次和光市子ども読書活動推進計画について 2 その他 事前配布資料 資料1 第3次和光市図書館サービス計画（案） 資料2 第4次和光市子ども読書活動推進計画（案） 資料3 第4次和光市子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート調査 資料4 第2次和光市図書館サービス計画（令和3年度） 取組状況及び評価表 議事を進行させていただきます委員長の石川です。よろしくお願いいたします。 大変寒くなって参りました。本日は令和4年度第2回図書館協議会です。図書館のみなさんにたくさんの資料をご作成いただき、その計画につきまして皆さんからさまざまなご意見をいただくのが目的でございます。本日は諮問された案につきまして、委員の皆様、より活発に議論いただければと思います。 本日は委員総数10名のところ、出席7名、欠席3名です。 それでは次第に沿って議事を進めさせていただきます。 (I) 第3次和光市図書館サービス計画について <u>資料1</u> について、事務局よりご説明をいただいてから、委員のみなさまからご意見を伺いたいと思います。それでは事務局からご説明よろしくお願いいたします。
事務局	(I) 第3次和光市図書館サービス計画について <u>資料1</u> それでは、まずはじめに、ここまでに至る経緯につきましては、5月に開催いたしました第1回図書館協議会のあと、案の作成とアンケート調査を実施しました。石川委員長にご教授いただき、図書館職員による精査、そして市の関連部署への照会・確認を経て素案を作成し、各委員の皆様の方に12月1日付けで送付させていただきました。12月6日までにご意見があれば事前にご提出のご協力を呼びかけさ

事務局	せていただきました。時間のない中ご協力ありがとうございました。 今後のスケジュールは、本日の第2回図書館協議会の議論と確認を経て、12月22日の和光市定例教育委員会に素案として報告の後、令和5年1月10日～30日でパブリック・コメントにより広く市民から意見を求める予定です。 さらにパブリック・コメントの結果を受け、第3回和光市図書館協議会を開催し(2月の下旬の予定)、内容の最終確認を行っていただいた後、2月16日の和光市定例教育委員会に最終的な報告を行い、第3次図書館サービス計画の最終的な完成としたいと考えております。よろしくお願いいたします。 本日欠席の星副委員長より意見をいただいておりますので、始めにご報告いたします。『(中略)建物老朽化やスペース不足等は図書館だけでは、対応が難しい面もありますから、図書館協議会委員から声をあげることで、少しでも市への働きかけの一助になるようでしたらどのような方法で声をあげれば良いかご教示ください。』というご意見をいただきました。このご意見に対し、『図書館協議会委員の皆様から「答申」としてご意見をいただけますとそれを伝えることができます』と私からお伝えいたしました。また、先々としては、図書館協議会として今後の図書館のあるべき姿を検討する必要があるということをお伝えいたしました。それを受けて星副委員長からは、『「建物老朽化やスペース不足等」については、図書館協議会から「答申」としてご意見をあげることを当日提案していただきますようお願いいたします。また、あるべき姿について協議会として検討してはどうかと提案してください。事務局として次回以降がよければ次回でも構いません』というご意見を頂戴いたしました。 次回3回目の協議会があるのですが、答申を3回目にしていただきますので、その時に併せて図書館のあるべき姿の検討を行うことについての検討も本日お願いいたします。
石川委員長	小林館長からここまでの経緯と今後の方向性をお話いただきました。星副委員長からは施設関係についての課題が多いということにて、図書館協議会から発信をすることが必要ではないかというご意見でした。前期の協議会の泉委員長も施設について大きな課題を抱えているという認識のもと、協議会では頻繁に議論した経緯がございます。今回第3次の計画の中にも、施設の老朽化やトイレのご意見なども利用者からアンケートに寄せられていました。長い間継続した課題になっている、とは言っても複合施設なので様々な面で制約があると思います。本日はサービス計画と子ども読書活動推進計画を中心に委員のみなさんからご意見を伺うということなのですが、まずは答申を協議会にて検討・提出するという方向性で、次回の第3回の協議会で星副委員長もご出席いただいて、ご意見を取りまとめるという方向の進め方でさせていただければと思います。いかがでしょうか。 もし答申についてご意見がありましたら、会議中にでもご発言ください。計画の中にも施設の老朽化のことは記載がありますので、その時にでもご発言いただければと思います。では議事にお戻しします。

事務局	それでは、議事の本題に入らせていただきます。 追加資料 令和３年度、４年度の図書館活動内容をご覧ください。 資料４としてお送りいたしました、評価表につきましては、令和３年度の評価は協議会でまだしていただいておりますけれども、第２次計画の資料としてご確認いただければと思います。本日お配りした図書館活動内容につきましては、前回にて活動の写真をというご意見をいただきましたので、令和３年度、４年度の一部ではありますが、ご紹介させていただきます。 南公民館図書室の企画展示は令和３年度から南公民館の館長からご提案いただいて、公民館図書室の活性化、図書館のPRを兼ねて毎月テーマに合わせた展示を行って利用促進をしております。 次はみんなのひとハコ図書館という事業で第２次サービス計画から行っている事業です。地域の団体で活動している方のおすすめ本または地域の活動を紹介するリーフレットなどを展示して市民に知ってもらう活動です。まず分館で展示を行い、次に本館でも展示を行います。 次は分館で行っています、夏休み自由研究のタネの中で司書のおしごと体験です。こちらも第２次計画から実施した事業で、大変人気があります。参加した感想を分館の廊下に展示しています。 次は令和４年度で、コロナで開催中止していましたが、規模を縮小して令和４年に３年ぶりの開催をした図書館まつりの様子です。多くの人を集める催しは出来ませんでした、このような形で行いました。 最後も令和４年度で、コロナで出来ていなかった事業の図書館見学が復活しまして、たくさん小学生が来てくれました。感想を寄せてくれて、子どもたちにとっては初めての図書館見学で、ていねいな感想をいただき、職員だけで見ているのではもったいないので、協議会でご紹介いたしました。 では議事に戻ります。 第３次図書館サービス計画について ４ページ 第１章計画の概要 １ 計画策定の背景と目的ですが、第２次の成果を踏まえ記載しました。２ 計画の位置づけと期間ですが、令和３年度に和光市教育振興基本計画が策定されましたので記載しました。 ６ページ以降の４ 第２次和光市図書館サービス計画における成果 ですがこちらは第２次計画とは表記の仕方を変えました。（１）で和光市や図書館を取り巻く環境変化を、７ページ８ページには（２）「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う和光市図書館の状況」を記載しました。こちらについては第２次計画の推進にあたり大きな影響を与えたので、成果の説明の前に入れました。 ９ページ以降に（３）第２次期間の主な取組と成果の概要を施策ごとに記入しました。 １０ページの施策４の中に一つ、「対面朗読の実施」の追加をお願いします。 １１ページには（４）数値目標の達成状況の表を掲載しました。 １２ページは（５）図書館協議会で評価いただいた内容を記載した総括表です。 次に１３ページ５和光市図書館の現状と課題ですが、第２次計画においては施策
-----	--

事務局	ごとに現状と課題を表記しておりましたが、今回先に現状と課題をまとめました。 (1)として現状、概要、またイメージ図を入れました。15ページに(2)として和光市図書館の課題として、アンケート調査から読み取れる課題と、16ページに2次計画の達成状況を踏まえ大きくとらえた課題を記載しました。①所蔵資料②本館の老朽化、スペース不足、③利用者拡大、④アクセスポイント⑤図書館サービス⑥地域の交流拠点です。 17ページ第2章基本計画の1将来像と2基本施策については第2次と同様としております。将来像については、令和3年3月に策定された和光市教育振興基本計画の記載を新たに反映しております。 18ページ19ページは基本施策と各種施策を見開きでみていただくようにしました。また、3つの基本施策は第2次計画と同様ですが、さらに基本施策のキャッチフレーズを新たに追加しました。左の本の枠に記載してあるとおりです。「学びをつくる、知る」「資料と市民をつなぐ」「資料と人との出会い」です。 平成30年度からの第2次計画では網羅的に施策の取組を示し、施策ごとに数値目標を設けて5年間取り組んでまいりました。このことで担当ごとにやるべきことがみえ、目標値に向かって取り組む姿勢が身に付き、5年間の成果につながったと思います。今後の5年間についての計画を策定するにあたり、少し考え方を変えました。コロナのこともあり入館者数や、参加人数などの数値だけでは測ることができなくなりました。今後図書館協議会で評価していただくにあたって数値だけで見るとはならず、施策の中身、行った取り組みを紹介するなかで評価していただく形に変えさせていただきました。もちろんまったく数値を見なくなるわけではなく、今までと同じように施策ごとに評価していただくにあたり、毎年とっている統計も掲載し、経年変化を見ていただくこととなります。 20ページから第3章 計画の内容(各種施策)です。各施策についてご説明いたします。 基本施策Ⅰ 和光らしさを意識した図書館へ 1 図書館を介したまなびの機会、和光市の文化を創る (1) 地域特性に目を向け、課題を発見するお手伝いをし、地域の方とともに文化を創る。 ■地域を知り、課題を発見する ■地域の文化を創る 第2次計画でも行ってきましたが、地域の方に和光市についてお話していただいたり、講師になっていただいたり、地域の思い出を共有したり、そういったことで地域と共に市内各地域の文化を創ることを入れさせていただきました。 (2) 地域資料と情報 ■地域・行政資料の収集・保存・提供 ■市民に役立つ情報の提供 和光市内の機関、団体などが発行するチラシも含めて地域行政資料の収集、保存、提供に力を入れていきます。また市民に役立つ情報の提供ということで、地域の情報を発信したり、子ども向けには調べ方を紹介するパスファインダー、こちらも第2次計画で作って参りましたが、更に広めて参りたいと思います。 2 資料、情報を収集し、保存し、提供する
-----	--

事務局	(1) 魅力ある蔵書構成で新たな利用者を獲得 ■魅力ある蔵書 資料費に限りはありますが、魅力ある蔵書を揃えることで今利用していない方にも利用していただけるよう図書館協議会でもご意見いただきました、ビジネス書の充実等図っていきたいと思います。 (2) 電子書籍 ■電子書籍導入の検討 こちらにつきましては、導入することで少ない蔵書を補うことが出来るので、引き続き検討をして参ります。 (3) レファレンス(参考調査)サービスの活用 ■レファレンス(参考調査)サービスのPR 調べ物のお手伝いをするということをPRして図書館利用促進を図って参ります。 基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ 3 すべての人へ図書館サービスを届ける (1) 図書館サービスのPR 先ほども申し上げました利用者拡大への働きかけ、また利用案内を作成して幅広い方に図書館サービスの説明を行います。 (2) 障害者サービスの充実 今までも取り組んで参りましたが、更に図書館内のサービスを充実し、図書館外への障害者サービスの充実では来館困難な方へ向けてのサービスをPRすることと更に小型の移動図書館についても検討していければと思っています。 (3) 高齢者へのサービス ■高齢者向け資料の充実 大活字本も入れておりますけれども、高齢者の方に利用していただけるような図書館にしていきます。23 ページ2行目にあります「高齢者福祉施設への団体資料の充実」は貸出が抜けておりますので、「高齢者福祉施設への団体貸出資料の充実」へ訂正をいたします。 ■認知症にやさしい図書館 現在も回想サロンを実施しておりますが、認知症予防や職員が認知症の方を理解して認知症の方または介護者の方にも利用していただける図書館を目指します。 ■ホームページなどの利用の案内 こちらも現在も行っておりますが、ホームページからの予約の仕方等について高齢者の方向けに説明会を開いて利用しやすいようにしていきます。 (4) 国際理解、外国人の暮らしに役立つサービス ■役立つ資料の充実 今ある洋書コーナーを多文化コーナーとしてまとめるなどして、利用しやすくする工夫を行っていきます。 4 子どもの読書活動を推進する (1) 本と出会うきっかけづくり
-----	---

事務局	■乳幼児と保護者が本に親しむきっかけづくり ■青少年（中高生含む）が本に親しむきっかけづくり 乳幼児や青少年とその保護者が本に親しむきっかけづくりを行います。 （２）第４次和光市子ども読書活動推進計画の推進 ■３つの基本方針に基づく計画の推進 ３つの基本方針に基づく計画の推進を行います。 基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ ５ 交流の場、居場所を創る （１）居場所としての図書館 ■設備の改善・充実 本館は老朽化しておりますが、分館は新しくきれいな設備です。誰もが入りやすい図書館としていきたいと思ひます。 ■居場所づくり 今利用していない方も利用していただけるように企画を実施していきたいと思ひます。 （２）本を通じた出会いの場、図書館 ■出会いの仕組みづくり おすすめ本の紹介をしたり、展示をしたりすることで本を利用していただきやすくします。 ■利用者が本の感想等を発信 読書会などの開催についても検討したいと思ひます。 （３）地域活動との連携 ■地域で活動する団体・企業・商店・関連施設・公共施設との連携 ■読み聞かせなどのボランティア支援 地域で活動する団体・企業・商店・関連施設・公共施設との連携をしていきます。 またここで、（４）としての追加か■の追加かは検討中ですが、地域学校協働本部というものが和光市に立ち上がりましたので、地域学校協働本部との連携を追加いたします。 ６ サービスを提供する基盤を整備する （１）本館老朽化への対応 新館建設の検討や大規模修繕について対応することを記載しております。 （２）職員研修 ■図書館サービスに関する専門的な研修 図書館職員のスキルアップについて記載しております。 （３）図書館運営の点検評価 ■図書館協議会 今のように図書館協議会で報告をして評価を受けます。 各施策は以上になりまして、第３次計画では新たに２７ページに各館の取組を記載
-----	---

事務局	しました。本館分館それぞれの特徴、役割がありますので、各館ごとに目標を記載しました。 29 ページ以降は取組一覧表をまとめました。こちら第 2 次計画では各施策ごとに記入しておりましたが、一覧にまとめました。 資料編につきましては、1 計画策定の経過、2 協議会委員名簿、3 和光市の人口推移、4 図書館の概要、5 アンケート調査等の結果でお送りいたしましたのが無作為抽出アンケート、本日お配りしたのが利用者アンケート、ボランティア団体アンケートとなっております。説明は以上です。
石川委員長	ありがとうございました。この計画はこれからの 5 年間、どのように図書館活動を推進していくかの指針になるものです。かなりの量があるものですので、皆さんからのご意見も様々あると思います。区切りながら進めたいと思います。まずは資料 1 の 16 ページまでの全体の概要と現状と課題について、ご意見はございますでしょうか。
国岡委員	私はわらべうたのボランティアを行っておりますので、その点についてご意見と図書館への要望として、10 ページのボランティア交流会についての意見なのですが、年に 1 回 3 月に行っている会のことだと思うのですが、今回ボランティアさんのアンケートが今日の資料で配布されたのですが、図書館ボランティアの存在は地域と図書館を結びつける上で重要な役割を果たしていると思いますが、どの団体も悩みは会員の高齢化と新規ボランティアの獲得ということが、ほとんどの団体から出ています。私も読み聞かせの講師をやらせていただいたことがありますが、今までのニーズとしては今までの交流会のあり方でよかったと思いますが、現状のボランティアの悩みに合わせた内容の交流会を来年度検討して改善していただきたいと感じました。こちらが一つ要望です。 もう一つ質問ですが、交流会の実施の隣にひとハコ図書館の実施が記載されています。図書館で本を紹介するということは影響力が大きいと思うのですが、ひとハコ図書館は、こういった趣旨で行っているものなのか、図書館主導なのか、団体主導なのか教えてください。図書館に置いているということで、図書館がそういった本を勧めていると捉える人もいると思うので。
事務局	趣旨としては、団体から団体を紹介していただくというもので、図書館ではなく団体さんのリレー形式で今までやってきました。そこで展示していただく本は、その団体さんがおすすめる本なので、必ずしも図書館がおすすめる本ではない場合もあります。
国岡委員	もしそうであれば、そういった選書だということがわかるような形がいいのではないかと思います。展示してある資料が、え？というものがあったりすることもあると思うので質問いたしました。

高田委員	館の展示としてアピールするので、団体からの要望をそのまま展示をしているのか、チェックをしているのか、気になりました。
事務局	今のところチェックをしておりません。国岡委員がおっしゃるように団体の選書であり、図書館のおすすめとの違いをお知らせしていくようにします。
高田委員	逆にチェックしてしまうと問題かなとも思いますので、おすすめしたい人達の意向を汲んで、館の選書とは違うことをわかるようにするといいいですね。
柳下委員	私は保育園幼稚園を運営している観点からお話したいと思います。９ページ乳幼児小学生へのサービスの充実という部分で、案として、下新倉小学校との連携がありますが、現状は保育園に団体貸出で絵本を年に２回貸出していただいております。うちの園では、先生たちが好きな絵本の紹介が保護者に人気です。保育園の先生に絵本アンケートを取って幼保に配布→図書館へ借りるという流れをつくることもアリなのかなと思いました。こういったことを幼稚園保育園との連携として加えてもいいのではないかと思います。
事務局	今おっしゃったように、おすすめの絵本のリストを作成する際に連携させていただくことも検討させていただきます。
星野委員	４ページ計画策定の背景と目的について、２行で簡単にまとめられておりますが、現在我が国の置かれている状況をもう少し明確に明記したらいいと思います。コロナ以降マスクをして生活する閉塞感、学校教育の変化も社会教育の変化も大きいと思います。社会のコロナ渦での大きな変化の中で、図書館がやれることを後半で語るために、環境の変化、ウクライナ戦争、値上げからの社会の閉塞感など、国の状況を分析してもう数行書いてもよいのではないのでしょうか。
事務局	おっしゃるとおりだと思いますので、そのようにいたします。
石川委員長	次は第２章の１７ページ以降２６ページまでの基本施策について、ご意見ございますか。
小熊委員	２４ページですが、中高生に向けての施策について、具体的にどういったことを計画されているかをお伺いしたいと思います。ここに載っている施策は比較的読書習慣のある子に向けてのものだと思います。学年が上がると本を読む子が減っていくことに対して、読書習慣のない子に向けての具体的な施策はありますか。
事務局	子ども読書活動推進計画に詳しく書いておりまして、資料２の４１ページをご覧ください。ヤングアダルトコーナーの充実ということで、本を揃えること、ライトノベルズやマンガを含む購入リクエストについても増々重視すること、さらにSNS

事務局	を活用して図書館サービスの情報提供に勤めます。SNSで語れる場を作成することを計画する、中高生が図書館に求めていることを知るための座談会などの意見発表の場を設けることを検討しております。今回の計画作成に当たり、前回委員長よりご意見いただいた中高生の座談会を開催する予定で準備をしていたのですが、コロナの影響で中止になってしまいました。ただ今後の5年間は中高生に参加してもらいながら意見を聞きながら進めるということをやっていききたいと思います。
小熊委員	当事者の中高生の意見を踏まえていただけたらと思います。
星野委員	今のご意見に関連してですが、現代の中高生が成長して就職していくわけですが、どのような職業につきたいかのアンケートをアメリカ・フランス・イギリス・日本・インド・インドネシアなど11か国で取ったら、日本人の30%が未定だということだそうです。他の国の子どもは職業に対する意識が高く、日本の子ども達も、どのような職業につきたいかを見いだせるような蔵書を揃えることも必要だと思います。もちろん学校でもそういった教育を行っていると思いますが、図書館でもそういった支援を行っていただければよいと思います。
石川委員長	図書館では本を手にとることによって多様な「知」に出会える、まさに知的冒険が出来る空間だと思います。中高生がこれから社会の一員となって進むべき道を図書館が後押しできるとよいですね。
事務局	もちろん職業選択に役立つ本を揃えることは必要だと認識しており、コーナーも作っております。令和4年度はつい先日YA講座としてジャンプ編集部の方を講師に迎えて講座を行いました。応募者多数で、こういった興味ある職業の先輩を呼んで講演をするのは良いと感じたところです。
石川委員長	飯能高校の図書館に夏頃学生と見学に伺いましたが、キャリアについてのコーナーがありました。通常のカテゴリでは、さまざまな分野に配置されてしまう本を例えば運転関係、バイク関係、水族館・博物館関係などに集めていて、職業・仕事、生き方を軸とした棚づくりを行っていました。そういった発見がある工夫があるといいですね。中高生のお話が出ましたが、鈴木委員いかがですか。
鈴木委員	資料2の41ページに和光高校と和光国際高校が載っておりますが、令和8年に統合予定で、実際に和光高校は来年度の入試が最後となります。和光国際高校は和光市で唯一の高校になるので、統合検討委員会にて図書館との連携を強めたいという意見が出たことをお伝えしたいと思います。 もう1点お聞きしたいのですが、21ページの魅力ある蔵書構成について、文面には出せないと思うが、誰にとって魅力があるのか考えていただきたいと思います。利用者は幅広く、全部というのは大変であると思います。自分にとっては、職業柄ターゲットが中高生の若者であるといいと思っています。

石川委員長	公共図書館の利用者層は0歳から99歳まで幅が広いと言われますが、このことは同時に地域の様々な方が利用出来るように開かれています。どういう層に焦点を当てて資料を繋いでいくかというご指摘が鈴木委員からございましたが、ビジネス書については事務局としてはいかがですか。
事務局	ビジネス支援コーナーを設けていますが、前回小熊委員にご指摘いただいたように、本当に読みたい人にとっては資料が少なく利用しづらい状態であるのが現状です。ビジネス世代が利用の少ない世代なので、その資料を厚くして利用を促すことが出来たらいいと考えております。
鈴木委員	私個人の意見ですが、現役世代として、新書は一度読めば済むので、そういった本を多く蔵書して図書館で借りるのがよいのではないのでしょうか。
国岡委員	思いついたのですが、ひとハコ図書館を高校生の図書委員に任せてみてはいかがでしょうか。
事務局	昨年度は和光国際高校の図書委員さんのおすすめ本のPOPの展示、ビブリオバトルの見学と、和光国際高校との連携が出来てきてよかったと思っております。
高田委員	今後ビジネス書を充実させた際の周知方法はどのようにしていきますか。新刊はHPで見られると思いますが、ビジネス書についての周知が出ていますか。
事務局	今現在は資料が充実してはいない状況ですが、今後充実した際は周知は必要だと考えています。図書館のTwitterなどであれば、ビジネス世代の方は見ていただけるのではと思います。
石川委員長	電子書籍の導入等もビジネス関係書籍が入れば通勤時に利用できると思います。また、『現役世代の男性』の『男性』は不要ではないのでしょうか。
事務局	修正いたします。
小熊委員	本館老朽化に関することですが、多目的トイレの足元にパイプがあることについてです。私は普段NPO法人で子育て支援を行っています。その他に本業として高齢障害者に関わる仕事をしておりまして、その視点で見るとどうにも危なく、アンケートを拝見しても車いすの当事者さんが怖いという意見があったので、危なくて使えない状況をどうにかしていただきたいです。
事務局	ご指摘いただいてから業者に見てもらいましたが、構造上不可能ということで、危ないですというポスターの掲示をしております。

小熊委員	そこを使えない人にサミットなどのほかのトイレをご案内するなどの対応はしていますか。そういった対応をしていただきたいです。
事務局	サミットのトイレを確認いたします。
石川委員長	現場を以前確認いたしました。危ないですね。構造上改修が難しいということなので、設備上バリアフリーも含めて収蔵冊数についても利用環境が昭和58年に開館した時点の社会状況、令和4年度時点の変化の中で、図書館のハード面での障壁が出てきています。星副委員長からご指摘もありましたが、第3回の協議会で答申をしていくことを前向きに出来れば、と思います。
高田委員	次回の建物老朽化の答申についてですが、答申のためにこういったものを調べて臨めばよいかわかりません。
事務局	第3回についても事前に資料を配布いたします。また前々回の協議会でも答申を出していただいていますので、その際に案をみてご意見をいただければと思います。
石川委員長	今後、今回のサービス計画案について、お気づきの点がありましたら、いつまでに図書館にお伝えすればよいでしょうか。
事務局	定例教育委員会の1週間前には資料を提出しますので、12月14日までをお願いいたします。
石川委員長	わかりました。委員のみなさまよろしく願いいたします。また私から1点ですが、24ページの4の文言が重なっているので、子ども読書活動推進計画のタイトルは、「すべての子どもに読書の喜びを」へ変更するとよいと思います。 では次に移らせていただきます。続きまして(2) <u>第4次和光市子ども読書活動推進計画について</u> <u>資料2</u> <u>資料3</u> の説明を事務局からお願いいたします。
事務局	では <u>資料2</u> 第4次和光市子ども読書活動推進計画につきましても、先程お話ししました第3次図書館サービス計画と同様にここまでの経緯を踏んで、今後のスケジュールも同じく最終的な完成へと進めていく予定でございます。 1ページから 第1章 計画の概要 1 背景と目的、2ページに国、県の動向 3ページ 第4次計画にあたって考慮すべき情勢を追記しました。 4ページ 和光市図書館の子ども読書活動に関わる動きに平成30年4月以降の内容を追記しました。 5ページ 2 計画の位置づけと期間等ではサービス計画と同様に教育振興基本計画を記載しました。 7ページ (5) 関係機関の表を追記しました。

事務局	８ページ ３ 基本方針は変更ありません。 ９ページ ５ ５年後の目指す姿及び数値目標を設定しました。 １０ページ 第２章 前計画の達成状況ですが、コロナ禍の影響がありましたので、冒頭に記入しました。一番目の「乳幼児・小学生対象事業等参加人数」は大幅に減りました。次の「読書活動についてのアンケート調査結果」問２の「本を良く読む」「たまに読む」については小学３年生５年生が増えました。問６の「５月中に読んだ本」が０冊の割合はすべての学年で増えました。 １１ページ以降は施策別の達成状況です。 １８ページからは第３章 アンケート調査の結果等です。５年前と比較して違いが出た部分は１９ページ ２つめの■「読書をする頻度」で「よく読む」が高２を除き増えた、２０ページ 「本を読んでもらった経験の有無」で「よくあった」が増えた、２２ページ 良くない変化ですが、「１か月に読んだ本の冊数」で「高２の０冊」が増えた、「図書館の利用頻度」で「利用していない」が増えたなどでした。全体としてこの５年で、コロナ禍の影響もありますし、ＹｏｕＴｕｂｅなど動画を閲覧したり電子書籍を読んだりということがかなり広まってきたのではないかと思います。 ２４ページ ２計画策定に伴うアンケート調査等の結果（市内小中学校等）です。 ２７ページ 第４章 アンケート調査、前計画の達成状況から読み取れる特徴と課題ですが、１小学生、中学生は「よく読む」子が増えている ２図書館を利用する小中高生が少なく ３成長するにつれて読書量が減っている となりました。課題としては「読まない子どもを減らす努力」「行ってみたくなる図書館づくり」「中高生の読書活動推進」となります。 ２８ページ以降は第５章 計画の内容と推進のための施策です。 「■取組内容」に市役所の各担当を明記し、関係各課に確認を依頼し、修正等を行いました。 ２９ページ １家庭・地域における読書の推進では「子ども読書の日の普及啓発を追加しました。 ３１ページ 本と出会えるところについては本と出会えるところマップの他に各施設を追記しました。 ３３ページ ３小学校・中学校における読書の推進では 学校図書館の機能を修正しました。 ３５ページ ４図書館における読書の推進 （１）乳幼児へのサービスの充実 では、ブックスタート事業から図書館利用につなげるために職員のスキルアップやボランティアの確保が課題となっています。 ３７ページ （２）小学生へのサービスの充実 では、分館で調べ学習コーナーを設置するなど取組が進みました。今後の取組内容としては児童向けの図書を時代の変化に柔軟に対応していくことを記載しました。 ４０ページ （３）中学生・高校生へのサービスの充実 では、４１ページ 取組としてＳＮＳの活用や中高生が図書館に求めていることを知るための会の開催等を追加しました。
-----	--

事務局	42ページ (4) 職員のスキルアップと体制づくりは第3次計画の資質向上をスキルアップという言葉に変更しました。取組内容に子どもと本をつなぐボランティアの育成と連携を追記しました。 資料3は資料編となります。1 計画策定の経緯 2 協議会委員の皆様の名簿以降アンケート調査です。小中高校生のアンケート、市内施設へのアンケート、未就学児保護者アンケートになります。以上です。
石川委員長	ありがとうございました。資料2も非常にボリュームがありますので、まずは前段の第1章から第4章までで委員の皆様から意見はございますでしょうか。 8ページの3基本方針にも表題の『すべての子どもに読書の喜びを』のスローガンを入れると良いと思いました。
星野委員	1ページですが、とても良いことが書かれています。『子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」とあり、本当にそうだと思います。現在もいじめなどがなくならず、大人の社会でも起こっていることで、子どもの頃から自己を表現する力を養うことは相手を思いやる心を養うこと。読書はそういった力があると思います。最後に出てくる『よりよく生きていく力を育てる』という部分にも繋がりますし、言葉の力を育む読書、図書館の役割を記載してもらいたいです。
事務局	記載いたします。
石川委員長	24ページ以降のところで子どもたちの生活の動線と読書環境を考えると、学校図書館が重要であると考えます。アンケートでも図書館アドバイザーの存在が大きいため勤務日数を増やしてほしいと書かれているが、この図書館アドバイザーの勤務状況がわかれば教えていただきたいです。
事務局	各小中学校に一人図書館アドバイザーさんがいらっしゃり、勤務日数はとても少なく、週に2日程度の勤務となっております。
国岡委員	図書館アドバイザーさんは学校司書の資格を持った方ですか？
事務局	司書資格は募集要件にしていますが、経験の長い方が継続していただいていることが多いです。
国岡委員	市が選定して任用しているということですね。
事務局	そうです。会計年度任用職員として毎年募集し、継続していらっしゃる方が多くおります。

国岡委員	きちんと子どもたちにアドバイスを出来る方なのですね。
事務局	現在は長く継続されている方が多くいらっしゃいます。図書館でも研修を行っていて、先日もPOP研修を行いました。勉強熱心にやっていただいて継続していますが、採用にあたっては司書資格の要件はありません。
国岡委員	子どもにどんな本を手渡すか重要な役割なので、どんな方がやるのか、どんな本を渡すのかをきちんと精査していただきたいです。また、勤務日数が週に2日は少ないので、そういったことも答申として出せないでしょうか。
事務局	答申として出せます。
国岡委員	であれば、週に5日勤務されている東京都内の学校図書館の充実度が違うので、和光市でも勤務日数を増やして欲しいということを答申として出したいです。
石川委員長	県立高校は学校毎に県の司書を置いていて、優れた学校司書が勤務しているのですが、小中学校の場合は各市町村の方針に従った配置状況になってしまいます。学校司書の充実について、図書館協議会として答申をしていくことは出来ることだと思います。続きまして、第5章28ページ以降についてご意見ありますでしょうか。この計画自体は地域と連携して進めていくものになります。柳下委員いかがですか。
柳下委員	私個人が感じることで、現状この計画、読書活動を推進していくことがあまり浸透していないのではないのでしょうか。先生個人ではなく施設全体として盛り上げるような形が必要ではないかと思います。説明をする、お便りを出すなどして働きかけがあっているのではないかと思います。図書館で本の選定をして別で貸し出すなど、具体的な取り組みがあると地域の施設も取り入れられると思います。
星野委員	今の29ページの現状について、とてもいいことが書かれています。しかし視点を変えて、子育てに悩んでいる20代30代のお母さん方にどういう支援ができるかを図書館でも考えられるのではないかと思います。選書の仕方、読み聞かせの言葉の使い方などの支援の視点も追加されるといいのではと思います。
石川委員長	国岡委員いかがですか。
国岡委員	星野委員がおっしゃることはもう図書館でやっていて、ブックスタート事業と私たちがおこなっているあかちゃんのための絵本とわらべうたの事業です。「孤育て」になっているお母さんに向けた事業で、参加者の中には終わってから久しぶりに人と話したと涙する方もいらっしゃいます。お母さんのお話を聞くこと、そして必要があれば支援に繋がればということを考えてやっています。これらの事業は「孤

国岡委員	育て」をしているお母さんの受け皿になっています。今はまだ図書館のみで行っている事業なので、出来れば外へ広げたいと思っています。例えばわらべうた事業を4か月健診と連携するなどできればいいなと思っていますが、いかんせんボランティアの人が足りませんので、やりたいことは多いのですが。
星野委員	そういった人を増やす講習会を主催してもらえばよいのではないですか。
国岡委員	何度か行っていますが、人が集まらないのが現状です。アクティブシニアの方々にもっと参加していただけると良いのですが。何とかしたいと思っています。
石川委員長	今のご意見を踏まえて29ページに課題などを加筆いただくとよいと思います。 それでは他にご意見がありましたら、先ほどおっしゃった14日までに図書館にお送りいただければと思います。また、答申につきましては第3回の協議会に向けて、施設の老朽化と図書館アドバイザーについてのご意見があれば図書館にお寄せいただき、次回改めてご議論いただければと思います。 それでは、本日、予定されました議事が全て議了しましたので、進行を事務局の方にお返しします。
事務局	委員長ありがとうございました。 冒頭に館長から説明がありましてとおり、本計画案は、今月22日の和光市教育委員会定例会に報告しますので、教育委員会への資料提出期日までに本日の図書館協議会で頂いたご意見を踏まえ、改めて修正したいと思います。 その後、2つの計画案を来年1月10日から30日までパブリックコメントの募集を行ってまいります。また募集前に誤字等の軽微な修正があった場合は、事務局に一任いただくということでご了承いただけますでしょうか。
委員	一同了承
事務局	ありがとうございます。 <u>2 その他 第2次和光市図書館サービス計画（令和3年度）取組状況及び評価表</u> <u>資料4</u>に移らせていただきます。 資料4としてお配りした「第2次和光市図書館サービス計画（令和3年度）の取組状況及び評価表」については、遅くなり大変申し訳ございませんが、次回協議会にて評価コメントをいただきますのでよろしくお願いします。 それでは、次回の協議会の日程につきましては2月の上旬を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。 以上をもちまして令和4年度第2回和光市図書館協議会を終了させていただきたいと思います。皆様本日は長時間にわたりご議論いただきありがとうございました。